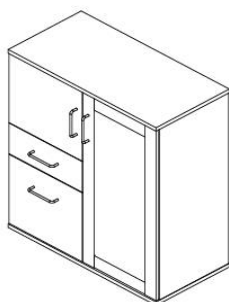


組立説明書

キャビネット カルロⅡ 80HG



この度は、当社製品をお買い上げ頂き、有難うございます。

この組立説明書は、組立前によくお読みになり、正しく組立を行ってください。

また、使用上の注意をよくお読み頂き正しくご使用ください。

本製品をご使用頂く間は、当説明書をいつでもご覧頂けるよう大切に保管してください。

製品サイズ	(約) 幅790 × 奥行390 × 高さ902 mm
主要材質	パーティクルボード・MDF プリント紙化粧繊維板・ガラス
参考耐荷重	天板 30kg 可動棚 5kg 引出 5kg ※測定値であり、保証値ではございません。予めご了承下さい。
組立時間目安	(約) 120分

組立の準備

■開梱直後やご使用開始当初は、接着剤等の臭いが強い場合がございますので、十分に換気・通風を行ってください。

■組立は、2人以上で行うことをお勧めします。

■組立に際し、下記道具をご準備ください。

やわらかい布(ご使用にならない古布団等)やダンボール ※組立の際に床や商品に傷が付かないよう布やダンボールを敷いて行ってください。
プラスドライバー
ゴムハンマー
あて布(ゴムハンマー使用時に商品を保護します)
はさみ・カッター

組立のポイント

■ネジの取り付け方

①各ネジをそれぞれ半分程度仮留めします。

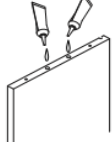


②すべてのネジの穴位置をあわせた後、最後にしっかりと締めつけます。

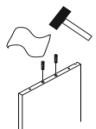


■木ダボの取り付け方

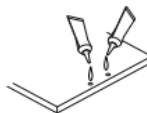
①側板側の木ダボ用の穴にボンドを入れます。



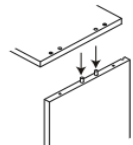
②木ダボをボンドを入れた穴にしっかりと差し込みます。



③取り付ける板の木ダボ用の穴にボンドを入れます。



④木ダボに合わせて取り付けます。



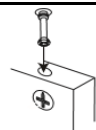
■締付けシャフト/締付け円盤の取り付け方

①締付け円盤を穴に入れます。矢印を締付けシャフト挿しこみ穴の方向に向けます。



※商品により形状が多少異なります。

②板に取り付けた締付けシャフトを挿しこみます。

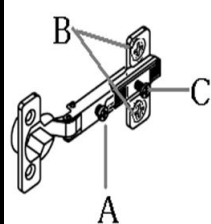


③締付け円盤をまわして固定します。

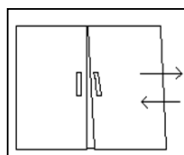


■扉ヒンジの調整方法

扉を取付後、下記のような扉のズレが生じた場合の調整方法です。



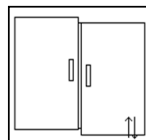
<1. 扉が内外にズレが生じている場合>



【ネジA】で調整

【ネジA】を左右に回す事により
扉が内外にズレ、
修正する事が可能です。

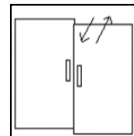
<2. 扉が上下にズレが生じている場合>



【ネジB】で調整

【ネジB】を一旦ゆるめて、
上下に位置を調整後、再度ネジを締めて
固定して下さい。

<3. 扉が前後にズレが生じている場合>



【ネジC】で調整

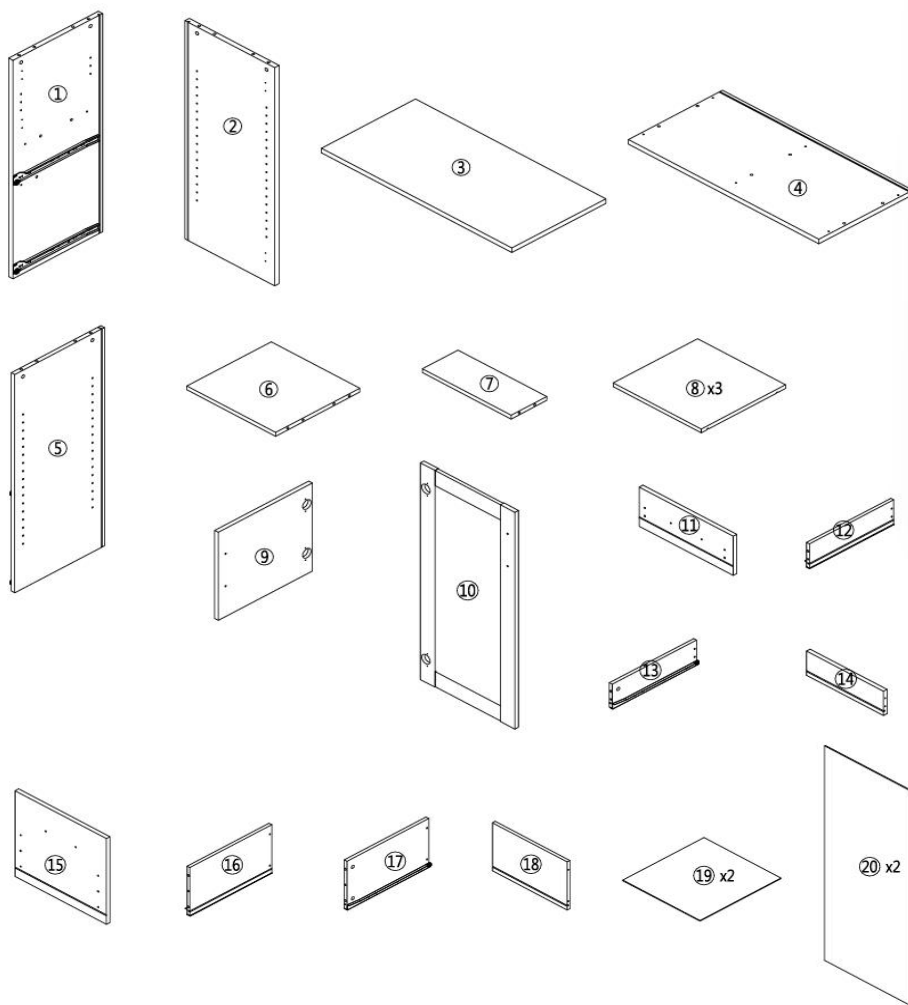
前後に位置を調整後、再度ネジを締めて
固定して下さい。

部品明細

■組立を始める前に、下記の部品・数量が全て揃っていることを必ずご確認ください。

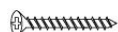
■小さなお子様のいるご家庭では、誤って部品を飲み込まないよう特にご注意ください。

■部材明細



- ①左側板×1
- ②右側板×1
- ③天板×1
- ④底板×1
- ⑤仕切板×1
- ⑥補強板(大)×1
- ⑦補強板(小)×1
- ⑧可動棚×3
- ⑨木扉×1
- ⑩ガラス扉×1
- ⑪引出前板(小)×1
- ⑫引出左側板(小)×1
- ⑬引出右側板(小)×1
- ⑭引出背板(小)×1
- ⑮引出前板(大)×1
- ⑯引出左側板(大)×1
- ⑰引出右側板(大)×1
- ⑱引出背板(大)×1
- ⑲引出底板×2
- ⑳背板×2

■部品明細



A.ネジ×6



B.木ダボ(太)×18



C.締付けシャフト×18



D.締付け円盤×18



E.取っ手×4



F.取っ手用ネジ×8



G. ヒンジ×4



H. ヒンジ用ネジ×16



I. 背板補強部品×6



J. 背板留め用ネジ×6



K. 棚受けダボ×12



L. 接着剤×1



M. 引出用ネジ×8



N. 木ダボ(細)×4



X. 耐震部品×2



Z.ネジ×4
(X用)

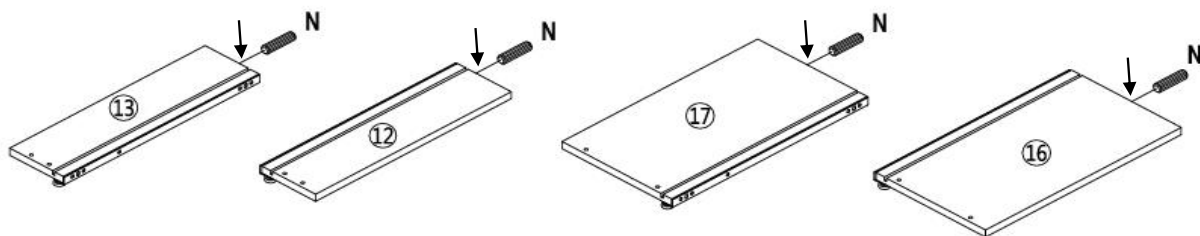
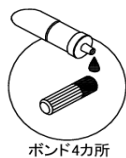
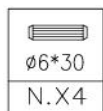
組立手順

■必ず、下記の手順に従い正しく組立してください。(製品の精度が著しく低下する恐れがあります。)

■ネジは一旦仮留めをし、部材の板すべてのネジ穴位置を揃えてから、それぞれのネジを最後まで締めてください。

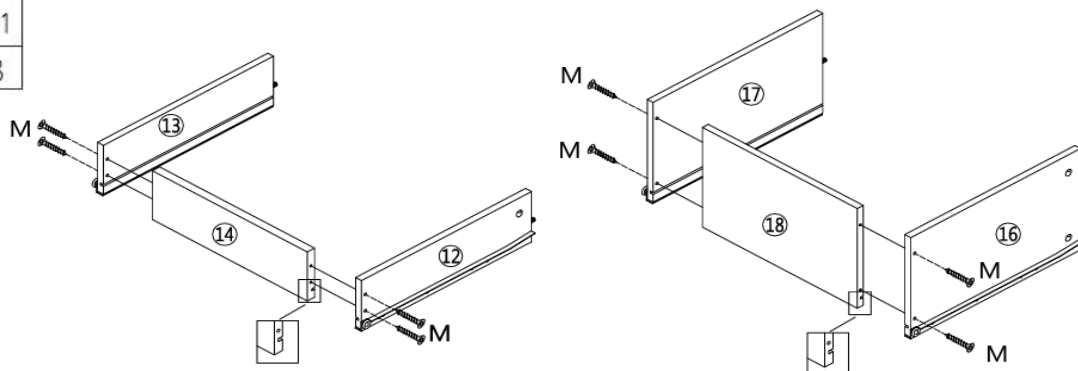
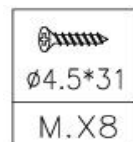
1

【[N]の部品取付】



2

【12 13 14 16 17 18の取付】

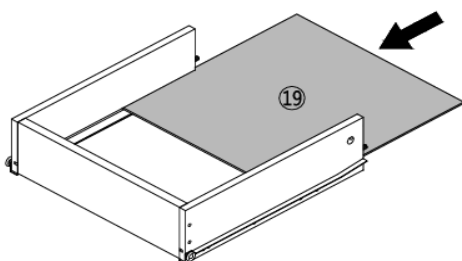


3

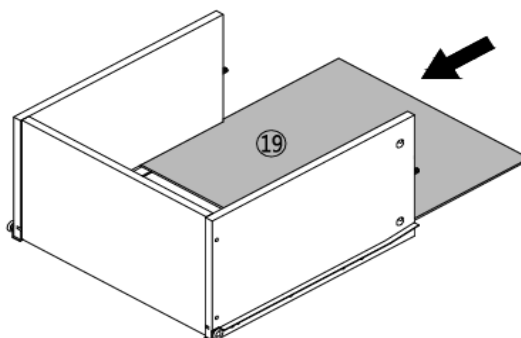
【19の取付】

※溝に合わせてスライドさせて入れます。

※シートが貼ってある面



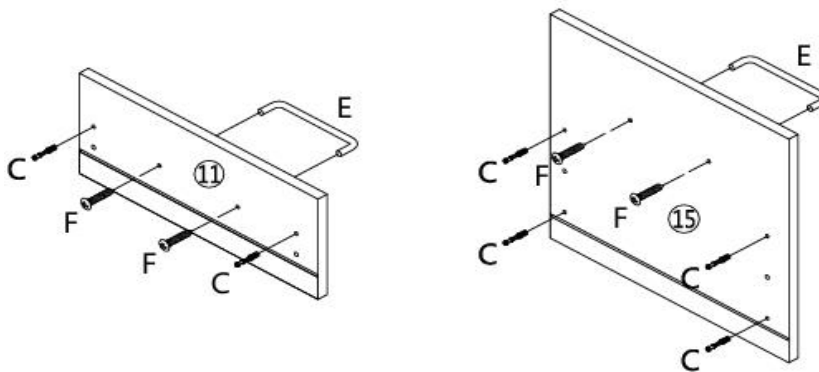
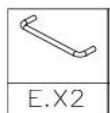
※シートが貼ってある面



組立手順(続き)

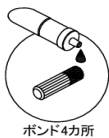
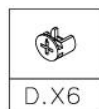
4

【[C][E]の部品取付】



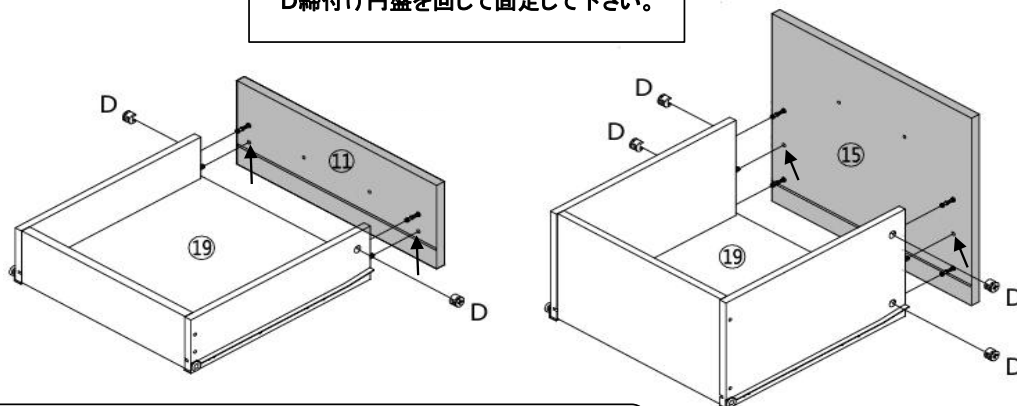
5

【⑪⑮の取付】



※締め付け円盤固定
6ヶ所
向きに注意！

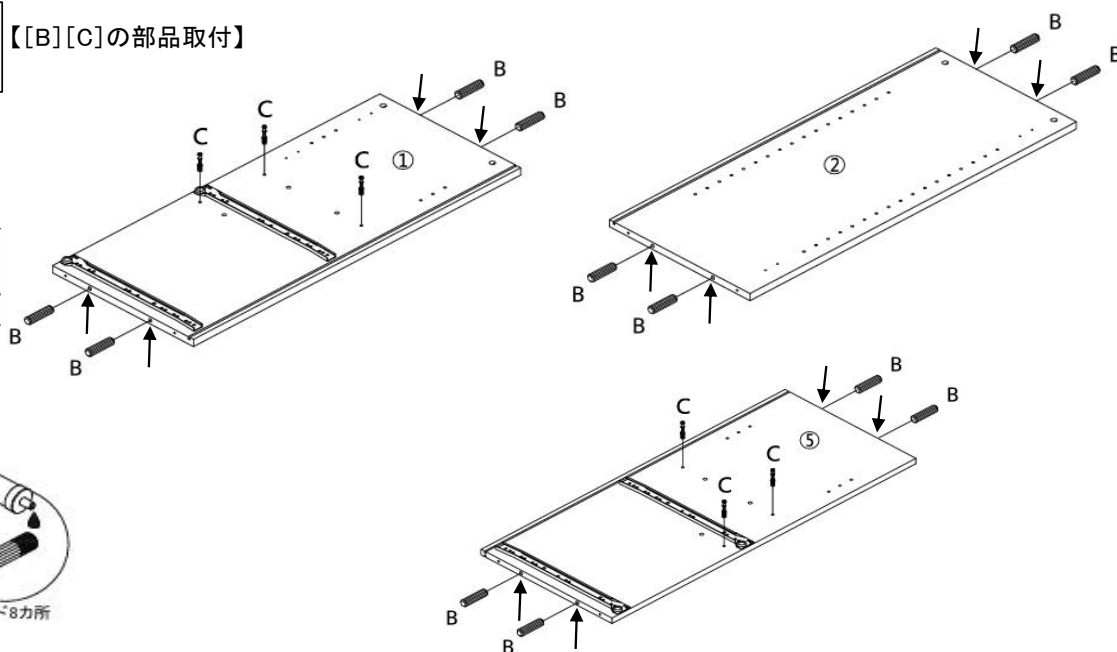
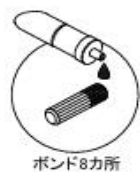
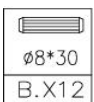
⑪⑮を取付後、
D締め付け円盤を回して固定して下さい。



締め付け円盤の取付は組立てポイント(1ページ)の
「締め付けシャフト/締め付け円盤の取り付け方」をご参照ください。

6

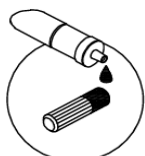
【[B][C]の部品取付】



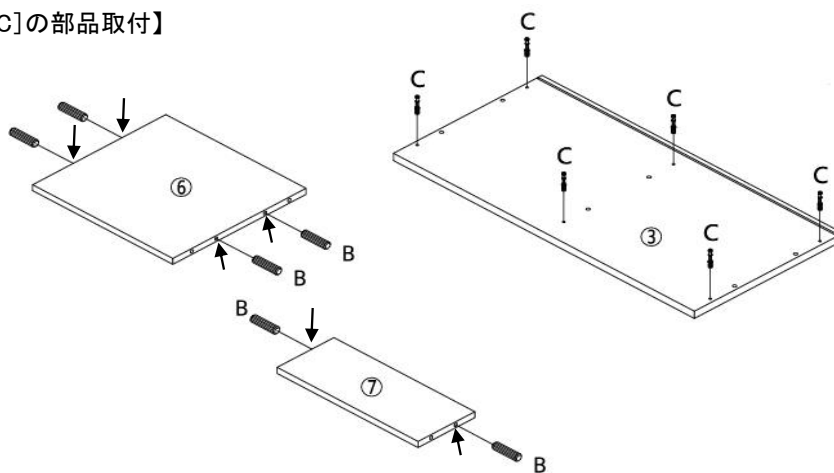
組立手順(続き)

7

【[B][C]の部品取付】



ボンド6カ所

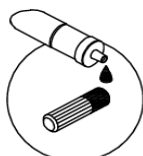


8

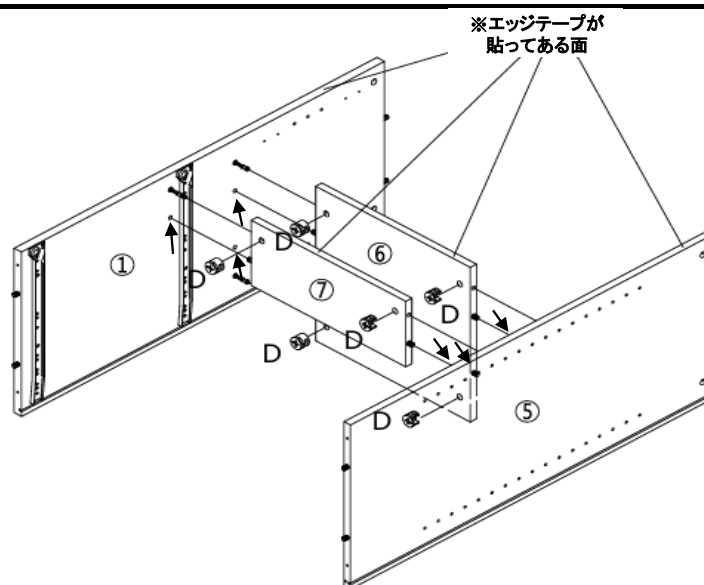
【①⑤⑥⑦の取付】



※締め付け円盤固定
6ヶ所
向きに注意!

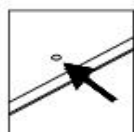
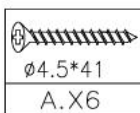


ボンド6カ所

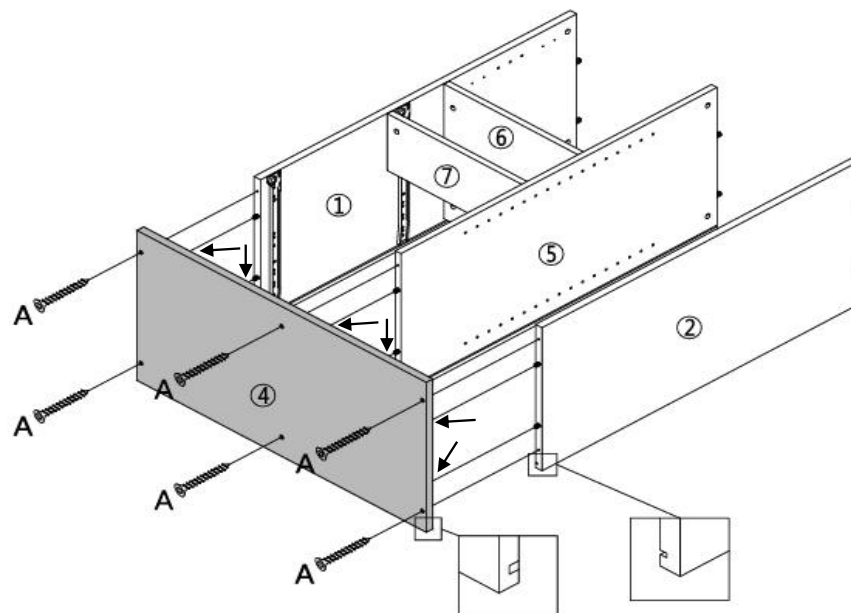


9

【④の取付】



ボンド6カ所



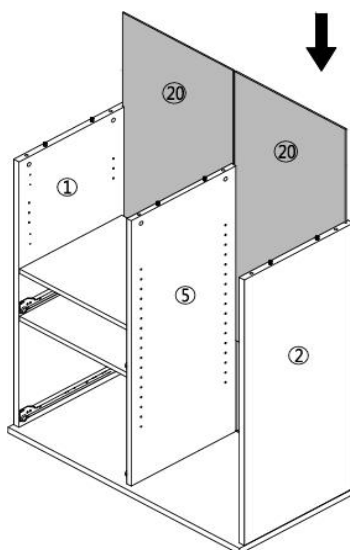
組立手順(続き)

10

【20の取付】

※溝に合わせてスライドさせて入れます。

※シートが貼ってある面



11

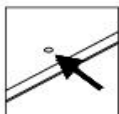
【3の取付】



D.X6



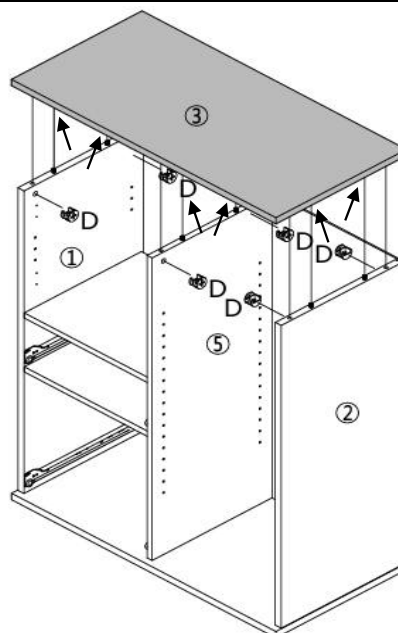
※締め付け円盤固定
6ヶ所
向きに注意！



ボンド6カ所

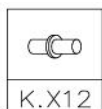
③を取付後、
D.締め付け円盤を回して固定して下さい。

締め付け円盤の取付は組立てポイント(1ページ)の
「締め付けシャフト/締め付け円盤の取り付け方」
をご参照ください。

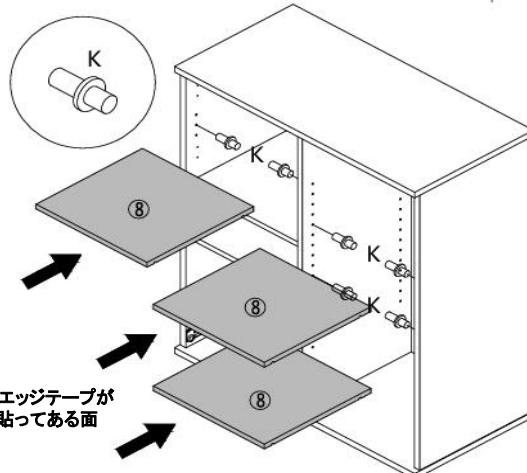


12

【8の取付】



K.X12

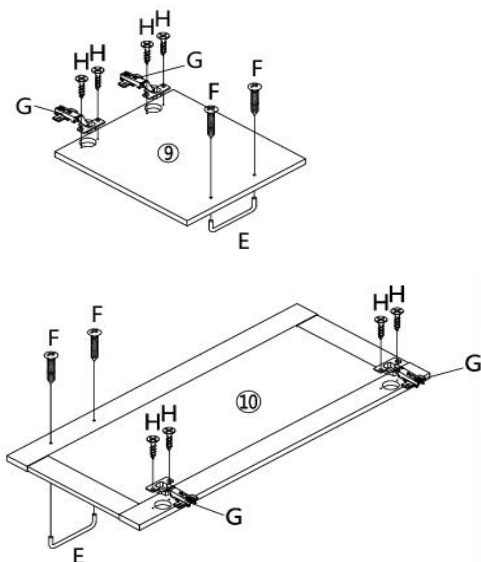
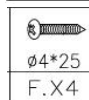


※エッジテープが
貼ってある面

組立手順(続き)

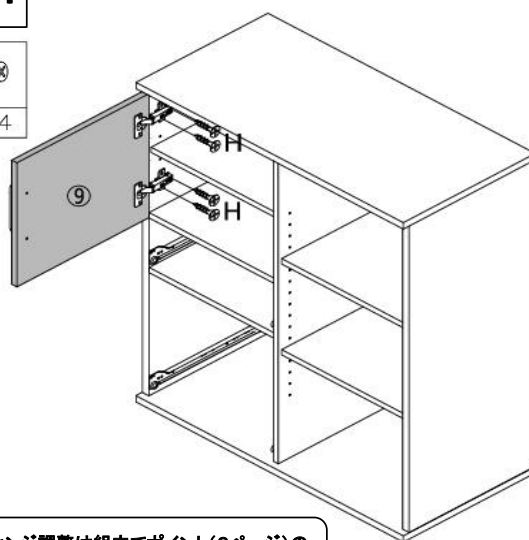
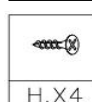
13

【[E][G]の部品取付】



14

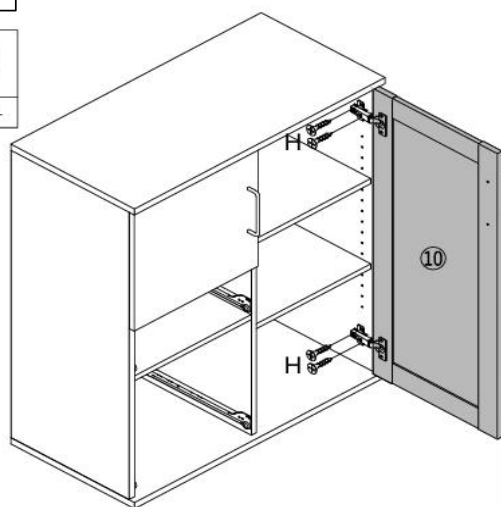
【⑨の取付】



扉のヒンジ調整は組立てポイント(2ページ)の「扉ヒンジの調整方法」をご参照ください。

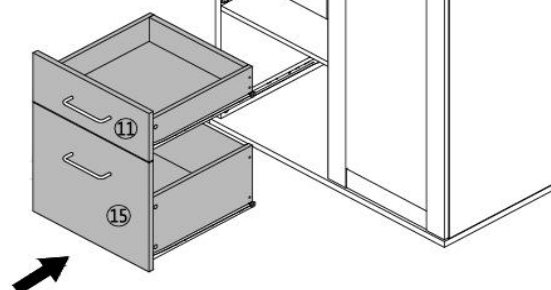
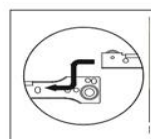
15

【⑩の取付】



16

【引出しの取付】

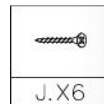


組立手順(続き)

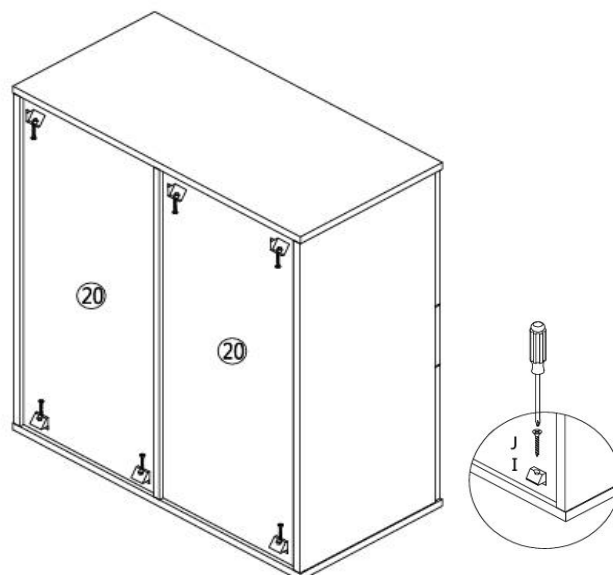
17 【I】の部品取付



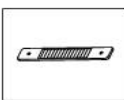
I.X6



J.X6



18 【耐震部品の壁への取付】

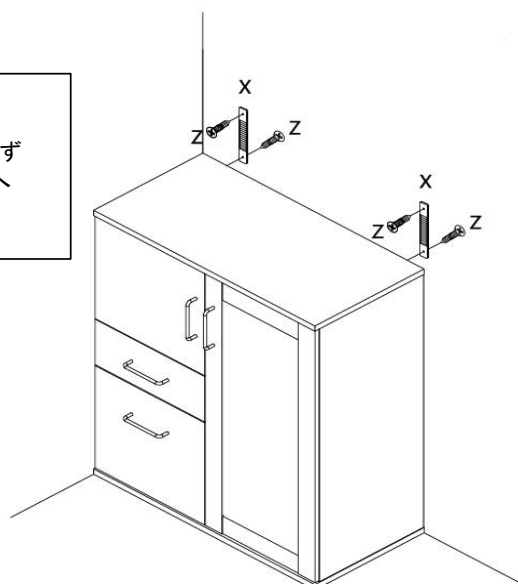


X.X2

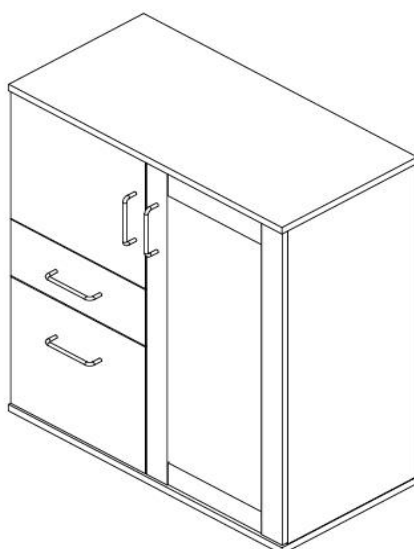


Z.X4

※注意
壁面に取付ける際は必ず
柱か芯材がある場所へ
取付けて下さい。



完成図



安全のために

■ご使用に際しては下記の注意事項をよく読み、正しくご使用ください。

■誤った使い方をすると、ケガや破損、家財の損傷等の恐れがあり大変危険です。

使用上の注意

- 商品は直射日光を避け、湿気の少ない場所に設置してください。
火災・変形・変色・事故の原因となります。
- ストーブや冷暖房器具の近くなど高温多湿の場所には設置しないでください。
火災・変形・変色・事故の原因となります。
- 商品は水平で平らな場所に設置してください。
変形・転倒・事故の原因となります。
- 製品の上にのったり、踏み台がわりに使用しないでください。
破損・転倒・ケガの原因となります。
- 耐荷重以上のものを載せないでください。
天板 30kg 可動棚 5kg 引出 5kg
※測定値であり保証値ではありません。あらかじめご了承ください。
- 商品にモノを入れる際は、上段のみに重たいものが入らないよう
下段とバランスよくモノを入れてください。
バランスが悪いとぐらつきや転倒の原因となります。
- 加熱した鍋ややかん等の熱いもの、また濡れたものを載せないでください。
火災・変形・変色・事故の原因となります。
- 移動する際は、必ず、載せているものを全て取り除いてから本体をしっかりと
持ち上げて移動してください。
商品の転倒、破損やケガの原因になります。
- お手入れは、乾いた柔らかい布で拭いてください。
はげしい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
- ネジがゆるんだ状態でご使用になれますと事故及び破損の原因になりますので、
定期的（1カ月に一度程度）にネジのゆるみがないかご確認ください。

手入れ方法

- ホコリや汚れは、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- 汚れが目立つ場合は、うすめた中性洗剤を湿らせしっかりと絞ってから拭いてください。